

「ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津 2022」

実施要項

1 目的

ビブリオバトルは、各自が読んで面白いと思った本を紹介し合い、参加者全員でディスカッションを行ったあと、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした参加者による投票を行い、最も得票の多かった本(チャンプ本)を決定する知的書評合戦です。

「話す」「聞く」「対話」を重視し、プレゼン能力や議論を進める能力を養うことを目的とし、子どもたち一人ひとりが本と出会い、本を読む楽しさ、討論の楽しさを体験することにより、より一層の読書活動の契機となるイベントです。

今年度は、いまだ新型コロナウイルス感染症が収束していないことを鑑み、昨年度と同様人数を制限した上で開催します。

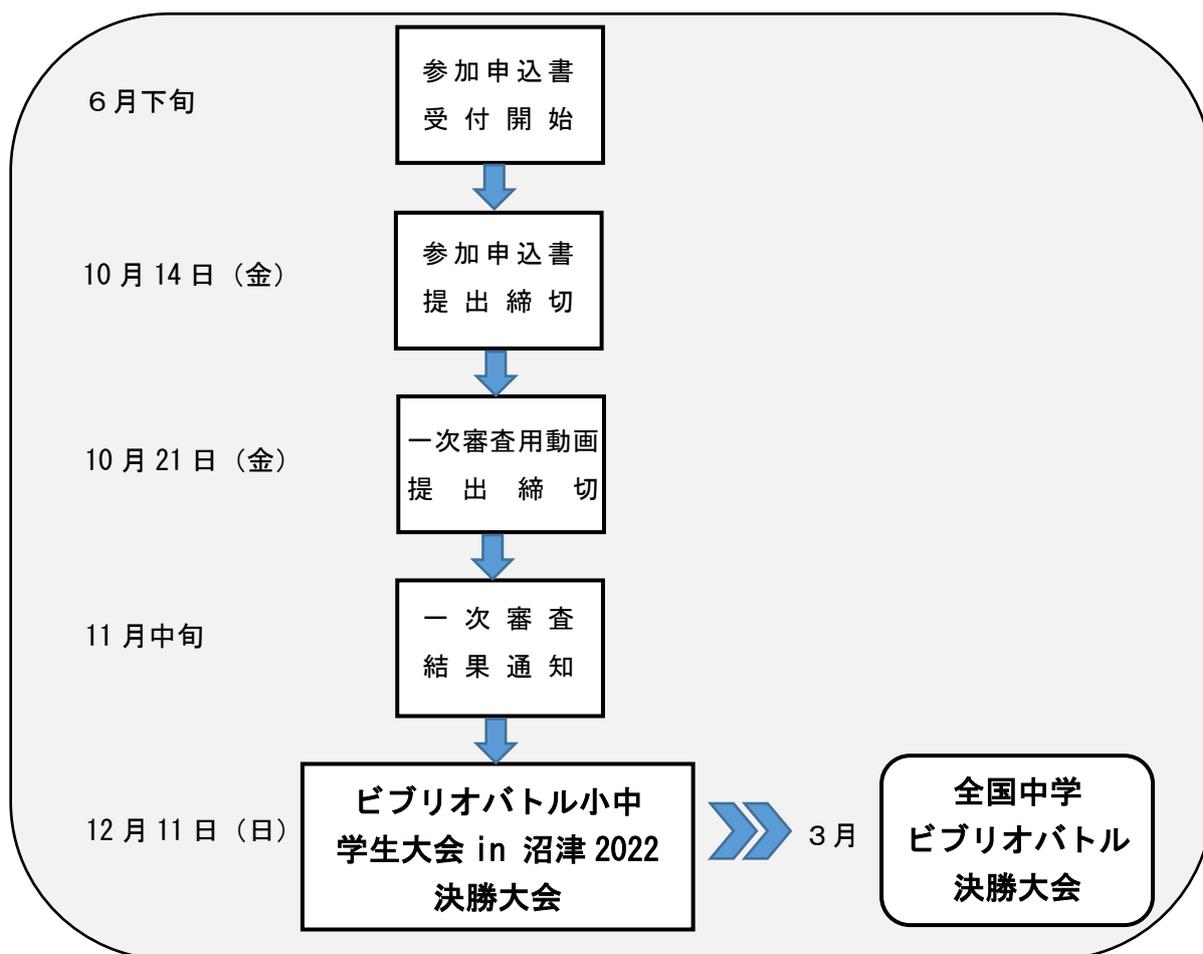
2 概要

決勝大会 日時	令和4年12月11日(日) <小学生の部> 午前10時00分から12時00分まで <中学生の部> 午後1時30分から3時30分まで
会場	沼津市立図書館 4階 視聴覚ホール
対象 定員	沼津市内の小学校5・6年生及び中学校1～3年生の希望者 各クラス1名まで
申込方法	指定の参加申込書に必要事項を記入し、 学校もしくは学年ごと図書館へ紙媒体で提出してください。
応募締切	令和4年10月14日(金) ※ 一次審査用動画の提出締切日ではありません。
一次審査用 動画提出締切	令和4年10月21日(金)
審査結果通知 主催	令和4年11月中旬 沼津市教育委員会(主管:沼津市立図書館)
問合せ	沼津市立図書館 沼津市三枚橋町9-1 電話 055(952)1234 fax 055(952)1219 メールアドレス info@tosyokan.city.numazu.shizuoka.jp
その他	大会の様子は図書館ホームページ等で案内します。

3 大会方式

昨年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、人数を制限して実施する。応募の際に、発表の様子を撮影した動画を提出してもらい、あらかじめ選考委

員会で一次審査を行い、ビブリオバトル決勝大会出場者を決定する。



4 一次審査（動画審査）について

別紙 一次審査（動画審査）募集要領参照

5 決勝大会について

(1) ルール

一次審査と同じ本で発表することとし、ビブリオバトル普及委員会「ビブリオバトル公式ルール」に則る。

- ① 発表者が読んで面白いと思った本を発表する。他人から推薦された本でも構わないが、必ず発表者自身が選ぶ。
- ② 本の紹介は、小学生は3分、中学生は5分を経過した時点でタイムアップとし、速やかに発表を終了する。
- ③ 発表者は必ず小学生は3分、中学生は5分を使い切り、レジュメやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表する。

- ④ それぞれの発表の後に、参加者でその発表に関するディスカッションを、小学生は2分間、中学生は3分間行う。
- ⑤ 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。
- (2) 発表者
一次審査（動画審査）を通過した、小学生8名・中学生6名
- (3) 観戦者
感染状況を踏まえた上で、10月頃に広報ぬまづや図書館ホームページ等で募集の案内をする。感染拡大傾向にある場合は、発表者の関係者等に限定して募集する。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
- ・発表場所を、飛沫防止用のアクリル板で囲う。
 - ・発表者や質問者のマイクはその都度、消毒する。
 - ・参加者に、マスクの着用や手指の消毒、密にならないように案内する。
- ※ 感染拡大傾向にある場合は、事前に期間を定め、参加者に検温と体調チェックシートを記入してもらい、大会当日に提出してもらう。

6 表彰

<小学生の部>

優勝（1名） 賞状及び副賞（図書カード2,000円）
参加賞（優勝者以外全員） 賞品（図書カード500円）

<中学生の部>

優勝（1名） 賞状及び副賞（図書カード3,000円）
参加賞（優勝者以外全員） 賞品（図書カード500円）

- ・一次審査参加者には参加記念品を贈呈する。
- ・決勝大会の様子は図書館ホームページやSNS、図書館広報誌等で公開し、上位入賞者については、本人及び保護者の同意が得られた場合、後日沼津市公式YouTubeで配信する。
- ・図書館1階に特集コーナーを設置し、決勝大会で発表された本の紹介をする。
- ・中学生の部のチャンプ本獲得者または成績上位者1名については、「全国中学ビブリオバトル決勝大会」への出場を可能な限り支援する。

7 その他

沼津市内の感染拡大が著しく決勝大会が行うことができない場合は、発表の様子を撮影した動画を、希望者のみ沼津市公式YouTubeに公開する。

8 ビブリオバトル公式ルール

★ ビブリオバトルとは

ビブリオは書物などを意味するラテン語由来の言葉（知的書評合戦）

biblio（本の意の接頭語）+battle（戦い）は参加者同士で本を紹介し合い、最も読みたい本を投票で決めるゲーム感覚を取り入れた新しい形の「書評会」

★ 公式ルール・・・知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト

(<https://www.bibliobattle.jp/>) より引用

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
 1. 他人から推薦された本でも構わないが、必ず発表参加者自身が選ぶこと。
 2. それぞれの開催でテーマを設定してもよい。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
 1. 5分間が経過した時点でタイムアップとし、速やかに発表を終了すること。
 2. 発表参加者はレジюмеやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表すること。
 3. 発表参加者は必ず5分間を使い切ること。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
 1. ディスカッションの時間では、発表内容の揚げ足を取ったり、批判的な問いかけをしてはならない。発表内容で分からなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること。
 2. 参加者全員が、お互いにとって楽しい場となるよう配慮すること。
 3. 質疑応答が途中の場合などはディスカッションの時間を多少延長しても構わないが、当初の制限時間を大幅に超えないように運営すること。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。
 1. 発表参加者も投票権を持つ。ただし、自身が紹介した本には投票せず、他の発表参加者の本に投票すること。
 2. チャンプ本は参加者全員の投票によって民主的に選ぶ。一部の参加者（司会者、審査員、教員など）に決定権が偏ってはならない。

参加者は発表参加者、視聴参加者よりなる。参加者全員という場合にはこれらすべてを指す。（ビブリオバトル普及委員会理事会決議 2022. 4. 1）